

深い集中思考をアイデアノートを用いて継続していけば、 問題解決策を素早くイメージし、表現できる能力が得られる

1. 思考や認識の内容は、その内容を言葉や図や数式等で表現する前に、君の脳内にイメージとして発生している。
2. 日常生活では、脳内のイメージの存在を意識する前に、その内容を言葉で表現することが一瞬で、できる場合がほとんどである。
3. そのため、脳内のイメージを自分が言葉に変換しているということを意識できない場合が多い。それは、いつも使用しているイメージを、いつも使用している言葉で表現しているからである。
4. しかし、あまり会っていない人の顔や、その人の性格や体格などはイメージできているが、その人の名前を、なかなか思い出せない場合がある。
5. また、自分の家族であれば、その人が何となく、いつもと違って元気が無いとか、機嫌が悪そうだというイメージを持つが、具体的に何が日常と違うのかを、すぐには言葉では説明できない場合がある。
6. 発明創造においても、脳内のイメージの役割が極めて大きい。
7. 何らかの装置や、仕事の状況や、施設や、アプリの動きを見て、違和感や不具合の存在を感じるのだが、その内容やその感じの発生原因を、簡単には表現できない場合がある。しかし、自分が感じているイメージを苦勞して言葉や図などで表現することで、重要な事が明確化でき、他人にもそれを伝えられる。
8. 画期的な発明は、問題についての深い集中思考によって君の脳内に発生した解決策のイメージを、君が苦勞して言葉や図や数式等で表現することで創造できる。
9. アイデアノートは、深い集中思考の実践に極めて有効であり、多くの先人が使っている。